

講義コード	25468020
担当者	岡田 敏 裕 准 教授
研究題目	日本および海外経済の経済分析：景気と成長

#### ゼミのねらい

皆さんがテレビや新聞のニュースでよく見聞きする、「失業率」、「GDP」、「景気」、「円安（円高）」、「金利水準」、「金融政策」、「中国経済の高成長」などは、経済学の中では主にマクロ経済学が扱うトピックスです。

本ゼミでは、マクロ経済学を学び様々な経済現象を理解し分析することを通して、実社会に出てから必要とされる、(1) 論理的思考能力、(2) パソコンスキルとデータ分析力、(3) プレゼンテーション能力、(4) 英語力、を身に付けることを目指します。

本ゼミの一番の目的は、思考力・問題解決力の向上です。マクロ経済学やその他の経済学の知識の習得が主たる目的ではありません（社会に出てから必要となるのは、「知識力」ではなく「考える力」だと個人的に考えているので）。そのような能力が必要であると考えている学生に本ゼミは適していると考えます。

#### ゼミナールの運営について

研究演習入門とそれに続く研究演習Ⅰでは、英語で書かれたテキスト（訳書あり）を用いてマクロ経済学の基礎を学び、現実の経済データを使用し経済現象を分析していきます。また、パソコン演習を通して分析に必要な様々なパソコンスキルも習得します。研究演習Ⅱでは、各自が選択した研究テーマに基づくプレゼンテーションを中心に進めていきます。最終的には研究したことを卒業論文としてまとめてもらいます。

そのほか、ゼミ合宿やコンパ等のイベントを通して、学生間の親睦を深めていきたいと思えます。

成績より目的意識とやる気を重視します。簡単な志望理由書を提出して頂きます。英語力に関して特に基準はもうけません、英語の資料等を使用することもあります。なお、希望者に対しては英語によるゼミでのプレゼンテーション等にも対応します。

●担当者に関しては、<http://kyou2005.kwansei.ac.jp/~okada/> を参照。

<b>受け入れ条件</b>		1. 説明会への出席 2. 志望理由書の提出（所定の志望理由書を学部事務室で入手）
<b>担当者のプロフィール</b>	<b>専攻</b>	マクロ経済学（景気循環、経済成長、消費、オープンマクロ）、企業統治、企業金融
	<b>現在の研究テーマ</b>	景気循環の理論および実証分析、コーポレートファイナンス
	<b>所属学会</b>	American Economic Association, Econometric Society, Royal Economic Society, American Finance Association, 日本経済学会